



<発表資料>

- 社史・アーカイブ総合研究所 -

目的達成のための「企画と記事構成」その2

「社史の活用度調査」の中の「目的達成の企画方針」の続きです（図1）。

図1：目的達成の企画方針

③のトップは「危機の乗り越え過程」でした。経営陣には役に立つ情報だからでしょう。「失敗体験」「不祥事体験」もあり、これらを教訓として同じことを繰り返さないようにしようという姿勢が見えました。

- ① 社会性
- ② 組織に関して
- ③ 失敗体験
- ④ 企業戦略を学ぶ
- ⑤ 企業の精神
- ⑥ 先人への敬意

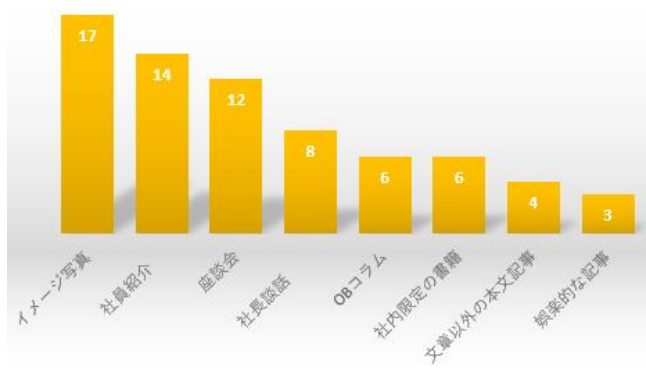
一方、④では「関係者の奮闘」や「市場開拓」「技術開発」が上位に選ばれました。成功体験を共有することも重視していました。

⑤は「関係者の情熱」が一番でした。企業は「ヒト・モノ・カネ」だけでなく、情熱や理念、技術力などが重なって、他社が突破できない壁を崩せるのでしょうか。

⑥は「先人の苦労談」や「業者の事跡」「創業者精神」が多く選ばれました。一方で、後継者の経営体験を社史に記録し、継承していくことも後の経営には重要です。

図2：目的達成のための記事構成

「目的達成のため記事構成」についての質問（図2）では「イメージ写真」や「社員紹介」が上位にきました。会社の個性を出すのに、それらを用いるのは理解できます。ただ、理念や歴史を反映する企画も検討が必要でしょう。





〒104-0033 東京都中央区新川1丁目8-8 アクロス新川ビル 4F
TEL 03-6824-9113 FAX 03-6824-9110 ✉ info@shashi-archive.jp 担当：鈴木

<https://shashi-archive.jp/>

No.00046

2022年12月22日

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

- 組織情報 -



ビジネスのDNAを次世代に伝える

出版文化社

【代表者】
代表取締役社長 木戸清隆

【創立】
1984年2月6日

【資本金】
99,234,300円

【東京本部】
東京都中央区新川1-8-8
アクロス新川ビル4F
TEL：03-6823-6820（代）

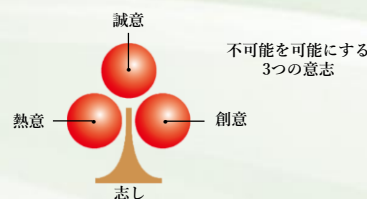
【大阪本部】
大阪市中央区久太郎町3丁目4-30
船場グランドビル8F
TEL：06-4704-4700（代）

【名古屋支社】
名古屋市熱田区五本松町7-30
熱田メディアウイング3F
TEL：052-990-9090（代）



Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。
編集は自社内で一貫して行っています。
専門家＝アーキビストが常駐しています。
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute
代表者 小谷允志
設立 2019年10月1日
研究員数 10名（東京6名・大阪4名）